

# アンレーブ メロディーオートスウィング

## 取扱説明書

### 品質保証書付

本製品は一般家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障などについては、修理サービスなどが行えない場合があります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書と同封の補足取扱説明書をよくお読みいただき、正しく使用してください。また、本書は大切に保管し、ご使用方法などがわからないときは再度お読みください。取りはずしてある部品は本書をよくお読みの上、取り付けてください。本製品を他のお客様などにお譲りになる場合には、必ず本書と同封の補足取扱説明書もあわせてお渡しください。



### もくじ

- ご使用の前に……………1
- 安全にご使用いただくために……1～3
- ▲ 警告……………1～3
- ▲ 注意……………3
- 梱包部品……………(別紙)
- 各部のなまえ……………4
- ベルトの使いかた……………5～6
- 高さ調節のしかた……………6
- 収納レバーの取り扱いかた……7
- キャスターの使いかた……………7
- 車輪ブレーキの使いかた……………7
- スウィングの使いかた……………8～10
  - 電動スウィングの場合……………9～10
  - 手動スウィングの場合……………10
- メロディーの使いかた……………11
- リクライニングの使いかた……12
- ベビーボックスの取り扱いかた…12
- テーブルの取り扱いかた……………13
- クッションの取り扱いかた……13
- スウィングラックQ&A……………14
- 品質保証書……………15
- 日常のお手入れのしかた……………(別紙)

この度は、コンビ製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく使用してください。

また、この取扱説明書は必ず保管し、ご使用方法などがわからないときは再度お読みください。

### ご使用の前に

- 本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドおよびイスとして使用されることを目的としています。
- 望ましい連続使用時間：  
ベッドとして 60分間  
スウィング 10～15分間
- ※1日の合計使用時間 3～4時間

### 安全にご使用いただくために

- ここに示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまや操作している方に危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害がおこる可能性があります。

- ご使用いただけるお子さまの条件  
本製品をご使用いただけるお子さまの年齢は、0～4才頃（体重18kg以下）までです。  
ただしスウィングの使用については、0～6か月頃（荷重制限8kg）までとします。

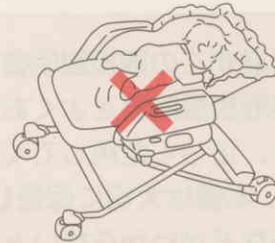
取り扱いを誤ると、

**[思わぬ危険をまねく恐れがあります]**

- 必ず保護者の目の届くところで使用してください。



- ベッドとして使用の際は、お子さまをうつぶせで寝かさないでください。窒息する恐れがあります。



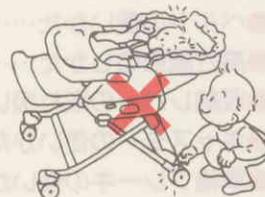
- 落下するなど強い衝撃が加わり、変形・割れなど、部品に破損が生じたラックは使用しないでください。



- お子さまがラックの下にもぐり込まないように注意してください。



- お子さまにラック（車輪ブレーキ・上下操作など）を操作させないでください。



# 警告

重大な事故につながる恐れがあります。

## 【お子さまが落下する恐れがあります】

- 股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。さらにリクライニングを寝かせて使用になるときは、必ず肩ベルトも使用してください。(P5～P6 参照)  
※お子さまがずり落ち、ベルトが首にかかり、窒息する恐れがあります。



- 各ベルトはお子さまの体に合わせてきちんと締めてください。(P5～P6 参照)  
リクライニングを変えたときは、そのつどベルトを調節し直してください。



- お子さまが座面に立ったり、テーブルや手すりから身を乗り出さないように注意してください。



- お子さまが乗り降りするときは必ず保護者が付き添ってください。



- お子さまを乗せたままで持ち上げて移動しないでください。



- お子さまを乗せたまま、高さ調節や収納レバーの操作をしないでください。



## 【ラックが転倒しお子さまが落下する恐れがあります】

- 移動するとき以外は、必ず次のことをお守りください。

1. 前脚のキャスターロックレバーを下げ車輪を回転させ固定してください。
2. 後脚のブレーキレバーをSTOPの位置にして固定してください。(P7 参照)

- 一度に2人以上のお子さまを乗せしないでください。

- 傾斜・階段・段差のある場所、またタイルなどすべりやすい場所では使用しないでください。



## ⚠ 警告

### [感電や漏電による事故や火災の恐れがあります]

- ラックの分解、修理、改造は絶対に行わないでください。特に裏面カバーは絶対にはずさないでください。



- お子さまが電源コードをなめたり、引っばったりしないよう注意してください。また未使用時は電源コードをお子さまの手の届かない場所に保管してください。



- 次のような場所での使用はしないでください。
  - ストープや熱器具などの火気の近く
  - 屋外などの直射日光の当たる場所
  - 浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所

- ほこりの多い場所
- 強い磁気の発生する場所
- 振動の発生する場所
- 多量の油分の発生する場所



- ラックの座面に水などがかった場合は、すぐにコンセントから電源コードを抜き、水分を拭きとってください。またクッションを取りはずして、本体内部に水分が流れ込んでいないことを確認してください。多量の水分が流れ込んだ場合は、使用を中止してお客様相談室にお問い合わせください。

- ベンジン、シンナー、ガソリン、磨き粉などで拭いたり、殺虫剤をかけないでください。



## ⚠ 注意

### 取り扱いを誤ると、傷害を負ったり故障の原因となる恐れがあります。

- リクライニング角度を変えた後は、必ずリクライニングロックをしてください。
- クッションは必ず取り付け使用してください。  
座面に穴や突起があり、お子さまの指などが傷つく恐れがあります。
- お子さまを乗せる目的以外（荷物の運搬・踏み台など）の使用はしないでください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- 電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

# 梱包部品

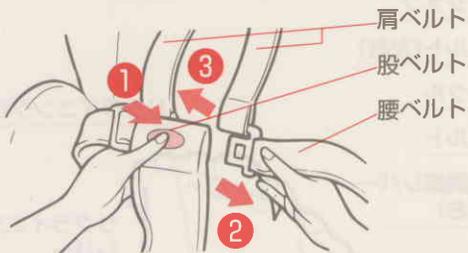
※同封の補足取扱説明書をお読みください。

## 各部のなまえ



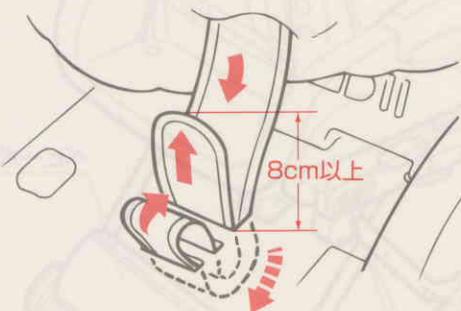
# ベルトの使いかた

1. バックルのPRESSマークを親指で強く押します。
2. 股ベルトから左右の腰ベルトをはずします。
3. 腰ベルトから肩ベルトをはずします。

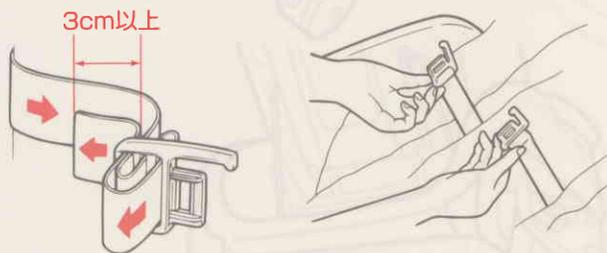


※ベルトを取り付けるときは逆の手順で行ってください。

2. クッションをめくり上げ、股ベルトの長さを調節します。



3. 腰ベルトの長さを調節し、左右の長さを同じにします。



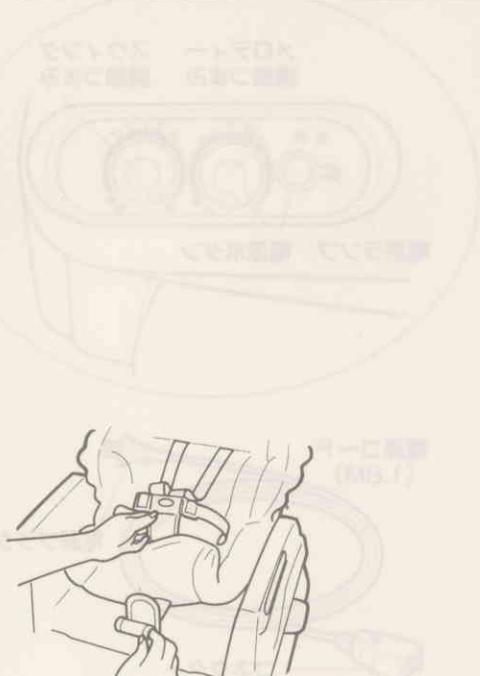
4. ベルトがゆるすぎたり、きつすぎるときは、2または3に戻って調節し直します。  
※肩ベルトと股ベルトの長さ調節は、股ベルトで行ってください。

## 警告

- ベッドとして使用の際は、お子さまをうつぶせで寝かせないでください。窒息する恐れがあります。
- ベルトの取り付けかたを間違えないように注意してください。お子さまが落下する恐れがあります。

## 警告

- 股ベルトは、端末まで8 cm以上余裕を持って、図のように調節してください。
- 腰ベルトは、端末まで3 cm以上余裕を持って、図のように調節してください。
- 間違ったベルトの取り付けかたをしますと、ベルトが抜け、お子さまが落下する恐れがあります。
- 調節後、股ベルトを引っ張り、抜けないことを確認してください。



5. リクライニングの角度を変えるとベルトの長さが変わります。リクライニングの角度を変えた後は、ベルトの長さを調節し直してください。



6. ベルト調節の目安は、ベルトと赤ちゃんの間に大人の親指が入るくらいにして、確実に調節してください。



## 警告

- ベルトの長さはしっかりと調節してください。お子さまが落下する恐れがあります。

7. 肩ベルトを使わないときは、クッションの裏側に収納してください。



クッションの裏側に収納できます。

## 高さ調節のしかた

### 警告

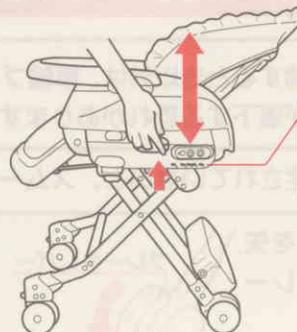
- お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下する恐れがあります。

### 注意

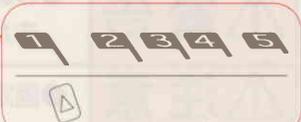
- 左右の高さ表示が合っているかを必ずご確認ください。表示が合っていないときは再度調節し直してください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 高さを下げるときは車輪などが前後に移動しますので、足元に注意してください。
- 高さ調節をするときは必ずスウィングをロックしてから行ってください。故障の原因になります。

### ■高さは5段階に調節できます。

- ①必ず左右の前脚キャスターを固定してください。
- ②左右の高さ調節レバーを押しあげたまま、本体を上下してください。
- ③ご使用になる高さで、左右のレバーから指を離してください。そのとき、左右の高さ調節表示が合っていることを確認してから使用してください。



高さ表示



## 収納レバーの取り扱いかた

### 警告

●お子さまを乗せたまま収納レバーを操作しないでください。お子さまが落下する恐れがあります。

### 注意

●高さを下げるときは、ラック本体と床面が接地し足や指などはさむ恐れがありますので、注意してください。また、車輪などが前後に移動しますので、足元にも注意してください。  
●収納レバーを操作するときは、必ずリクライニングの角度を一番寝かせた位置にしてください。

1. 必ず、リクライニングの角度を一番寝かせた位置にし、左右の前脚キャスターを固定してください。

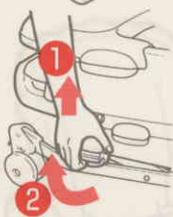


2. 高さ調節レバーで、一番低い高さ位置にセットしてから操作してください。

高さ調節レバー



3. 左右の収納レバーを指でつかみ、①上へ持ち上げるようにしてから②外側へレバーをゆっくり解除してください。



### 注意

●床などがキズつく恐れがあるので、収納状態での移動はおやめください。

4. 収納レバーが解除されたら、そのままゆっくりと下げてください。



※収納位置から再度ラックをご使用になるときは、高さ調節レバーを操作し、ご使用になる高さまで持ち上げてセットしてください。

## キャスターの使いかた

### 警告

●移動するとき以外は、必ずキャスターを固定してください。ラックが転倒しお子さまが落下する恐れがあります。

①キャスターロックレバーを上げると、ロックが解除され車輪が自由になって、方向転換が行えます。



②固定する場合は、キャスターロックレバーを下げ車輪を回転させて図の位置にすると、固定されます。



## 車輪ブレーキの使いかた

### 警告

●移動するとき以外は、車輪ブレーキを固定してください。ラックが転倒しお子さまが落下する恐れがあります。

### 注意

●固定されていないと、スムーズにスウィングできません。

①後脚のブレーキレバーを矢印の方向に下げるとブレーキがかかります。



②移動するときは、ブレーキレバーを矢印の方向に上げて解除してください。



# スウィングの使いかた

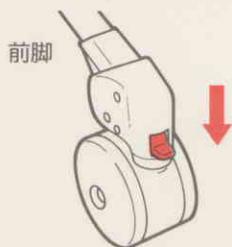
## 警告

●お子さまが、ブランコのように遊ぶことは危険ですからしないでください。転倒や転落の恐れがあります。

## 注意

- スウィングは、首のすわらない生後2～3ヵ月頃までは、背もたれを一番寝かせた位置で使用してください。
- スウィングは、背もたれを立てた位置で使用しないでください。お子さまが前のめりになったり、頭がぐらついたりし危険をまねきます。
- スウィングをご使用になるときは、お子さまの様子をよく見てください。お子さまに異常が見られる場合は、ただちに中止してください。
- スウィングをすると、前後方向に本体が動くことがあります。障害物のないことを確認の上、使用してください。
- お子さまの衣服などを含めた荷重制限は8kgです。制限以上の荷重をかけるのは、故障の原因となりますのでおやめください。

1. 必ず、前脚のキャスターはロックし、後脚はブレーキの状態にしてください。

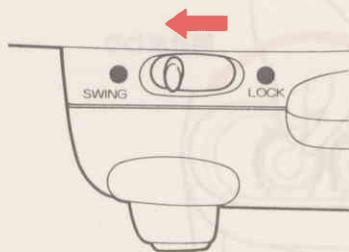


2. リクライニング角度を、スウィングの位置にしてください。

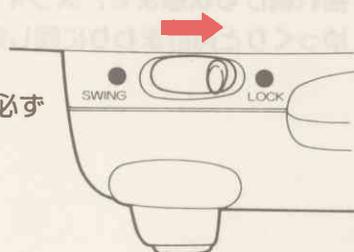


※電動スウィングの場合は、一番寝かせた角度で使用してください。

3. 左右のスウィングロックを図のようにすると、スウィングできます。本体を手で揺らしてください。



※スウィングを使用しないときは、必ずLOCK位置にしてください。



4. スウィングできないようにするには、スウィングロックを図のようにLOCK位置にしてください。

※スウィング巾は約8cmです。スムーズに動く範囲で使用してください。

# スウィングの使いかた（つづき）

## 電動スウィングの場合

### 警告

- ラックの座面に水などがかった場合は、すぐにコンセントから電源コードを抜き、水分を拭きとってください。またクッションを取りはずして、本体内部に水分が流れ込んでいないことを確認してください。多量の水分が流れ込んだ場合は、使用を中止してお客様相談室にお問い合わせください。
- お子さまが電源コードをなめたり、引っぱったりしないよう注意してください。また未使用時は電源コードをお子さまの手の届かない場所に保管してください。

### 注意

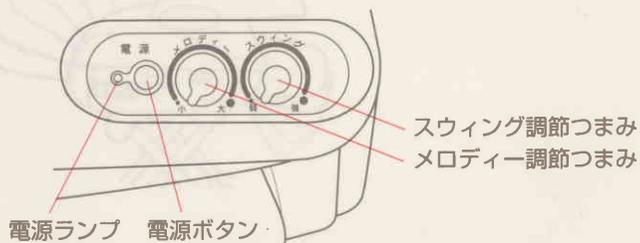
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- 電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

※ 1.～4.についてはP8を参照してください。

5. 電源コードのコネクターを本体のコネクター差し込み口にセットして、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

6. 電源ランプが点灯していないことを確認して、お子さまをあお向けに寝かせてベルトを正しく取り付けてください。（P5.「ベルトの使いかた」参照）

7. スウィング調節つまみを弱の位置に、また、メロディー調節つまみを小の位置に合わせてから電源ボタンを押してください。



8. 最初は手で揺らして反動を付けながら、自動的に揺れ続ける状態まで、スウィング調節つまみをゆっくりと時計まわりに回します。



## ⚠ 注意

- 長時間、連続使用した際、裏面カバーがあたたまる場合がありますが、使用上問題ありません。
- スウィング部や裏面カバー付近から異臭が発生することがありますが、使用上問題ありません。

9. お子さまの様子を見ながらスウィングの強弱を調節してください。また、メロディーを使用する際は、P11「メロディーの使いかた」を参照してください。

※約15分で自動的に電源が切れます。

※やわらかい床面で使用する場合、本体が不安定となり、スウィングが正常に作動しない恐れがあります。フローリングなどのかたい床面で使用してください。

※スウィングが弱すぎると、途中で停止することがあります。継続させる場合は、スウィング巾6cmくらいを目安に強弱を調節してください。

※お子さまの身動きにより、スウィング調節つまみが強い位置でも、スウィングが途中で停止することがあります。自動でスウィングし始めるまで、お子さまをあやしなから、手で背もたれ部をゆっくり押ししてスウィングさせてください。



### 〈電気仕様〉

- 定格電圧……………AC100V
- 定格周波数……………50 / 60 Hz
- 定格消費電力(最大)……42W
- メロディー音量……………8 Ω / 0.5W

## 手動スウィングの場合

※1.～4.についてはP8を参照してください。

5. 電源ランプが点灯していないことを確認して、お子さまをあお向けに寝かせてベルトを正しく取り付けてください。(P5.「ベルトの使いかた」参照)

6. 手で背もたれ部をゆっくり押しながらスウィングさせてください。スウィングの強弱はお子さまの様子を見ながら調節してください。

※途中で電動スウィングに切り換えたいときは、「電動スウィングの場合」の5.以降の指示にしたがってください。

# メロディーの使いかた

## ⚠ 注意

●音量はお子さまがおどろかないように、小さめにしてお使いください。

1. 電源コードのコネクターを本体のコネクター差し込み口にセットして、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 電源ランプが点灯していないことを確認して、お子さまをあお向けに寝かせてベルトを正しく取り付けてください。(P5.「ベルトの使いかた」参照)
3. メロディー調節つまみが小の位置にスウィング調節つまみが弱の位置になっていることを確認してください。
4. 電源ボタンを押し、メロディー調節つまみで音量を調節してください。

※約 15 分で自動的に電源が切れます。

※スウィングと同時に使用するときは P8 ～ 「スウィングの使いかた」 にしたがってください。

※使用のたびに、前回使用時の次曲からスタートします。ただし、電源コードを抜いた場合、1 曲目からスタートします。

## 曲 目

- ① ローレライ (約 33 秒)
- ② スワニー河 (約 52 秒)
- ③ グリーンスリーブス (約 63 秒)
- ④ ロック・ア・バイ・ベイビー (約 35 秒)
- ⑤ アニーローリー (約 51 秒)
- ⑥ ブラームスの子守歌 (約 39 秒)
- ⑦ 峠の我が家 (約 66 秒)

# リクライニングの使いかた

## 警告

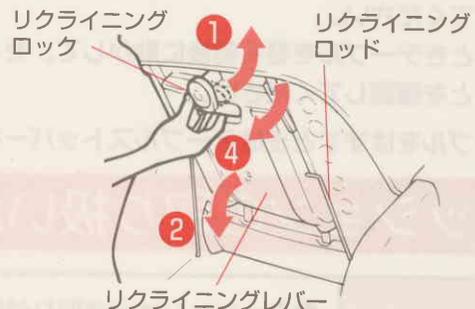
- リクライニング角度を変えたときは、必ず各ベルトを調節し直してください。お子さまがずり落ち、ベルトが首にからまり、窒息する恐れがあります。

## 注意

- リクライニング操作時以外は、リクライニングロックをロック状態にしてください。
- リクライニングを操作すると、連動してステップの角度が変化し前方向に30cm程飛び出しますので、障害物のないことを確認の上、操作してください。

### ■首のすわらない生後2～3ヵ月までは、一番寝かせた角度で使用してください。

- リクライニングの角度は、5段階に調節できます。
- リクライニングの角度に連動して、ステップの角度も変化します。



### リクライニング操作のしかた

- ①リクライニングロックを解除します。
- ②リクライニングレバーを手前に引きます。
- ③ご使用になる角度のところで、リクライニングレバーを戻します。

※リクライニングロッドが、溝に入っていることを確認してください。

- ④リクライニングの角度を決めたら、図のようにリクライニングロックを元に戻して必ずロックしてください。

※リクライニングの角度に連動して、ステップの角度も変化します。



### リクライニングの目安

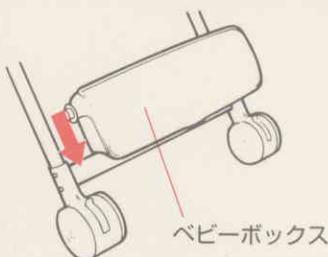
# ベビーボックスの取り扱いかた

## 注意

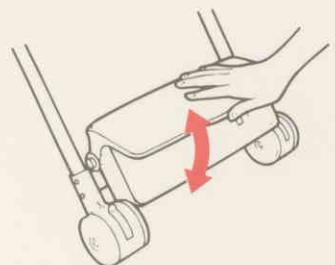
- ベビーボックスに3kg以上の重量をかけると破損することがありますので、注意してください。
- 使用しないときは必ずフタを閉めてください。足で踏んだりすると危険です。

### ■ベビーボックスには、タオルや紙おむつなどを入れておくと便利です。

- 図のようにベビーボックスを取り付けてください。



- フタの開閉は、図のように行ってください。



## テーブルの取り扱いかた

### ⚠ 注意

- テーブルの位置合わせをしたときに、前後に抜けないことを確認してから使用してください。
- お子さまが、本体の横にある溝に指を入れケガをする恐れがありますので、充分注意してください。

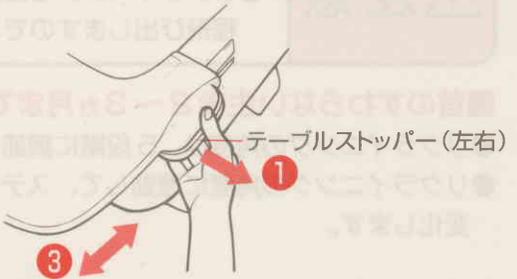
① テーブル両サイドのテーブルストッパーを、外側に引っ張ります。

② 本体の横にある溝に合わせ、テーブルを差し込みます。

③ 前後3段階調節ができるので、好みの位置に合わせて使用してください。

※このときテーブルを軽く前後に動かして、セットできていることを確認してください。

● テーブルをはずすときはテーブルストッパーを引っ張り、そのまま手前に引き抜いてください。



## クッションの取り扱いかた

### ⚠ 注意

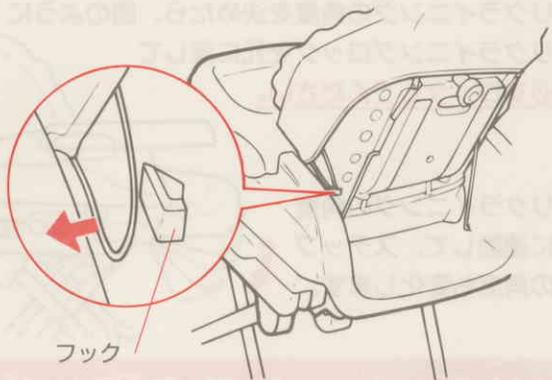
- クッションは必ず取り付けてご使用ください。座面に穴や突起があり、お子さまの指などが傷つく恐れがあります。

● クッションを取り付けるときは、形を整え、ベルトの位置に合わせてセットしてください。

● マジックテープに強めに押しつけ固定してください。

● 正しい位置に固定できたら、左右のゴム輪を本体両側のフックに掛けます。

● クッションをはずすときは、左右のゴム輪を本体両側のフックからはずしてから行ってください。



## 日常のお手入れのしかた

※同封の補足取扱説明書をお読みください。

# スウィングラック Q & A

スウィングラックを正しく効果的にご使用いただき、ママと赤ちゃんの楽しいひとときにお役立てください。

## Q1 生後何ヵ月から使用できますか？

A: 0ヵ月の赤ちゃんからご使用できます。ただ、生まれて間もない赤ちゃんは首がすわっていないため、背を立てた角度で身体を起こして使うことは無理です。水平に近い角度で寝かせてご利用ください。首がすわってからは、赤ちゃんが喜ぶ角度を選んであげてください。

## Q2 1日に何回くらい、何分くらい座らせておいて大丈夫ですか？

A: 赤ちゃんを座らせておく時間は、1回30分から1時間くらいが適当です。赤ちゃんが機嫌よくひとり遊びしていただける時間が目安になります。赤ちゃんには、やはりママの抱っこが一番です。ラックに長時間いることはよくありません。1日の使用時間は合計3~4時間が望ましいでしょう。スウィングをしながら赤ちゃんが眠った場合は、すぐにベッドやふとんに移すと目をさますことがありますので、寝ついた頃を見て移してあげてください。

## Q3 スウィングの時間は何分くらいが適当ですか？

A: 赤ちゃんが機嫌よく、快い表情でいられるかを目安にしてください。気持ちよく眠り始めたときは、すぐに止めないでしばらくスウィングを続けてあげた方がよいでしょう。あまり長くスウィングさせるのは、ママにとっても疲れる原因になりますので、10~15分くらいを目安に考えてください。

## Q4 スウィングをさせるときの最適な揺らしかたはありますか？

A: 赤ちゃんを「スウィングの角度」にして寝かせ、ママが赤ちゃんに語りかけながら手でやさしくスウィングしてあげることが最適といえるでしょう。赤ちゃんを気づかいながら、ゆっくりやさしく揺らしてあげてください。この時メロディーを鳴らしながら語りかけても良いでしょう。手で押すのが疲れたときは電動スウィングを利用してみてください。自動で約15分間動き続けますが、ママがずっとそばに付き添ってあげて、赤ちゃんを気づかいながら、スウィングの強弱を調節してください。